



御礼とお願いとお知らせ

校長 長 沼 正 城

昨日の雷雨・豪雨対応について

昨日は、急な雷雨への対応に御協力いただきまして、大変にありがとうございました。保護者の方からは、「電車が止まって迎えに行けません・・・、どうしたらいいでしょうか・・・」というご相談もありました。常に臨機応変に動く状況で、とにかく児童の身の安全をどう確保するかに苦心しました。

雷雨の中でしたが、途中10数分間、小康状態がありました。そのタイミングで、一斉下校する方法もありました。しかし、傘を持ってきていない児童がたくさんいたのです。万が一、家にたどり着く寸前で、ザーッときたら、本当にかわいそうです。一人で家に入ったときに、びしょびしょの服をどのように処理して、髪の毛や体をふくのでしょうか。いろいろと頭の中に浮かび、グルグルと回っていたのです。

そんな中、H&Sの発信を見て、順次お迎えに来ていただきとても助かりました。校内に残った児童が30数名になった時点で、全員下校を判断しました。その人数には、意味があって、「学校貸し出し傘」の在庫の本数だったのです。

昨日の教訓として、2つ、心に残りました。

①前日の天気予報で、午後に「雨」がある場合は、傘を持って登校することを、「H&S」で流し注意喚起をすること。

②「学校貸し出し傘」の本数を増やすこと。今後、緊急対応として。

そこで、②のことについては、保護者の皆様にお願ひがあります。もしもご家庭に、[「使っていない子供用傘」](#)、しかも[「まだまだ丈夫で使える傘」](#)がありましたら、学校に寄付していただけないでしょうか。そうしていただくと大変有り難いです。貸し出し用シールを貼って保管したいと思います。ご協力のほどお願いいたします。



リコーダーの指支援グッズ

今年度は、秋の「音楽会」に向けて、夏休みに「動画撮影」の課題を出しました。今も一人一人が自信をもってリコーダーがふけるようにと練習しています。もちろん鍵盤ハーモニカも同様です。

本日、このような話を聞きました。

「夏休み、家で練習していて、音が“ピーー”と出てしまって苦労した。それで、お母さんが、調べてくれて、『ふえピタ』というシールを買ってくれて・・・、そうしたらだんだん音がよくなった・・・。」

私は、とても嬉しくなりました。そして素敵な親子の関わりを想像しました。我が子の“困り感”に寄り添って、何とかしてあげたい、との思いから、そのアイデアグッズを探してくれたのです。

私ごとですが、小学生のとき、リコーダーが大の苦手でした。一所懸命吹けば吹くほど、リコーダーのお尻から「アレ」が垂れてくる・・・、みんなと合わせて音を出しているつもりが、突然“ピーー”と鳴ってしまう・・・。なんだか恥ずかしかった、できなかったという思い出しがありません。特に“ピーー”と鳴るのには、何度もくじけました。その時、こんなシールがあったなら、もっと自信をもって吹けたのかな・・・と、今さらながら思います。四小っ子たちには、同じ思いはさせたくないと思い、このシールのことをご紹介しました。

* 『ふえピタ』は、ネット検索していただくといくつかヒットします。ご参考までに。

